

教職教育センターの求める教員像及び教員組織の編制方針

(1) 求める教員像

- 本学の求める教員像を踏まえ、教職教育センターにおける教育・研究・FD 活動・社会貢献・管理運営の各種活動に意欲的に取り組める国際性を有する者
- 教職教育センターの目的、教員養成の理念等に掲げる能力を教授するにふさわしい高水準の研究能力・教授能力に加え、教職課程認定申請にあたり、教職課程担当教員としての教員審査に合格できる実績を有し、継続的にその資質・能力の向上に努めるとともに、教育者としての自覚を持ちながら学生と真摯に向き合い、自身の専門分野をもって教員の養成に尽力する者
- 専門分野における豊富な知識と応用展開力を前提とし、学際的な視野に立って新しい研究領域を開拓する能力と国際的な幅広い視点を有し、専門分野の発展に貢献するとともに、その専門分野をもって学習指導要領に基づいた学校教育の充実に寄与できる者
- 周囲の教職員と多様性を認め合い協働しながら、教職教育センターの運営・教務・FD 活動、ならびに各学部や教養教育研究院と協調した全学の教職課程運営等の活動に対し、自らの役割を果たすとともに、大学全体の管理運営にも寄与できる者

(2) 教員組織の編制方針

- 教職教育センターの目的、教員養成の理念等を実現するために必要な教員を適切に配置する。
- 教職教育センターにおける教育研究活動を継続的に実施するため、教職課程認定申請の教員審査に合格できる人物であることを基本としつつ、職位・年齢・性別・学問分野のバランス・国際性等を踏まえた多様な人材を配置する。
- 教職課程の運営に係る各種ガイダンスのほか、教育・研究指導、管理運営、社会貢献、FD 等の各種活動に対して、教員間で連携・協働するために、適切にその役割を分担する。
- 教員の募集・採用・昇任等にあたっては、教職教育センターの運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。